

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|--------------|
| 建物名称 | グンゼ株式会社 守山工場 新工場増築 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 滋賀県守山市森川原町字下友163番 他9筆 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 市街化調整区域 | 平均居住人員 | 15 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 24 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2022年6月 予定 | 評価の実施日 | 2022年4月1日 |
| 敷地面積 | 16,825 m ² | 作成者 | 飯塚誠一郎 |
| 建築面積 | 8,452 m ² | 確認日 | 2022年4月1日 |
| 延床面積 | 10,786 m ² | 確認者 | 太田幹男 |



| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|---|--|----------------------|
| <p>BEE = 1.8</p> <p>★ ★ ★ ★ ★ ☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> | <p>★ ★ ★ ★ ★ ☆</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | |
|--|--|---|
| Q 環境品質 | | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 0.0</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.4</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.8</p> |

| LR 環境負荷低減性 | | |
|---|--|---|
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 4.5</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 4.0</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.7</p> |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|---|
| <p>総合</p> <p>高効率な機器や節水器具を積極的に採用し、環境負荷の低減に配慮している。</p> | <p>その他</p> <p>-</p> | |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>・評価対象外。</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。</p> <p>・高い階高を確保し、空間のゆとりに配慮している。</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。</p> <p>・燃焼機器を設置しないことで、温熱環境の向上に配慮している。</p> |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。</p> <p>・躯体と仕上材が容易に分別可能な構造とし、非再生性資源の使用量削減に配慮している。</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>・燃焼機器の使用を避けて、大気汚染防止に配慮している。</p> <p>・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される